

10月13日、精神看護学の講義の一環として、あぶらむの里にて校外学習に行ってきました。

クラスメイトとのかかわりの中で自分自身を見つめ、自己理解・他者理解を深めることを目的としています。



〈昼食のピザ作り〉



おいしかった～！！たくさんいただきました！！

〈目隠し散歩〉



視覚を制限された状態で歩きました。
最初は恐る恐る歩行していましたが、
だんだんと視覚以外の感覚が
研ぎ澄まされていきました。
ガイド役の存在が大きいです。
信頼関係ってどういうことかな？
自分はいつも誰かに支えられて
生きているのですね。



学校を離れ、自然豊かな環境の中でのびのびと楽しく過ごすことができ、良い気分転換にもなりました。

“卒業まで助け合っていくクラスメイト”、そして“これからもずっと共に生きる自分自身”と向き合う、良い機会となりました。